令和5年度 英語科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・全学年において少人数授業を展開することにより、基礎基本の定着を図ることができた。
- ・外国語教育指導員の活用により、発表活動を定期的に授業に取り入れ、表現力を育むことができた。

(2) 課題

- ・自ら考え、場面に応じた英作文を正確に作るなど、全学年を通して「書くこと」の分野で 正答率に差が見られた。
- ・英単語を正確に覚えるなどの語彙の知識や、基本的な語形・語法の理解において差がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率(経年比較)

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
	全観点で正答率が低く、		
第1学年	特にリスニングにおけ		
	る正答率が著しく低い。		
	正答率は、基礎、活用と	基礎では目標値を上回	
第2学年	もに下がった。	ったが、活用では▽6下	
		回った。	
	全観点で目標値を上回	主に、リスニングや語彙	基礎では△1、活用では
第3学年	ることができ、基礎では	の知識・理解の分野で	△9 校内正答率が目標
	△1.8、活用では△1.5	は、目標値を上回る	値を上回った。
	上回った。	ことができた。	

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単語の意味理解のみ目標値	基本的な動詞を使った語順	「書くこと」の英作文では
を上回っているが、アルファ	理解でも正答率が低く、「聞	目標値を概ね上回っており、
ベットに関しては、読み書き	くこと」の英文の読み取りの	主体的に問題に取り組む姿
ともに著しく低いことが課	理解も下回っている。	勢が見られた。
題である。		

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語彙、語形・語法の知識・理	概要を聞き取ったり読み取	無回答・無記入が、多いもの
解は、ともに目標値を下回る	ったりする問題では正答率	で 50%を超えている問題があ
か若干上回る程度となって	が高くなっているが、要点を	った。英作文に対する苦手意
おり、基本的な事項が定着し	捉えたり英作文をしたりす	識がある生徒が多いことが
ていないことが課題である。	る問題は目標値を大きく下	うかがえる。
	回っている。語彙力が足りな	
	いことが原因と考えられる。	

③ 第3学年

<u> </u>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語彙の知識・理解において	表現の「書く」問題において、	英作文の分野において正答
「動名詞の形」や「過去進行	場面に応じた英作文や3文	率が目標値とほぼ同程度も
形」などの問題で目標値を下	以上で「夏にしたいこと」に	しくは上回っていた。
回っていた。動詞の語形変化	ついてまとまった内容を説	主体的に場面に応じて英文
において課題があることが	明する英文の正答率が目標	を書く姿勢が読み取られた。
読み取れる。	値を上回る結果が出ていた。	

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ワークやノート等、英語罫を	基本的な一般動詞を使った	様々な題材に対して英作文
意識して正しくアルファベ	表現の反復練習や、英作文の	を書き、発表活動につなげて
ットが書けるよう繰り返し	課題等、自分自身の実際の体	いく。主体的に自分の言葉で
訓練していく。	験を表現できるよう練習し	表現できる力を育成してい
	ていく。	<.

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
既習事項を理解しているか	学習した単語や文法を使っ	教員や ALT, 生徒同士での英	
を確認しながら、新出の単語	て、自身のことを表現する練	語でのやり取りを通して、学	
や文法を定着させていくこ	習をしていく。音読・聞き取	んだ単語・文法で自身を表現	
とに重点を置く。小テストの	り、書き取りを繰り返し、基	し伝える機会を増やす。	
機会を増やし、生徒の語彙力	本となる英文の定着を図る。	英語を使って表現すること	
を増強する。		に楽しさを感じられるよう	
		な授業にする。	

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
動詞の語形変化の課題に対	「書くこと」において条件英	授業で「英会話」を計画的に
して、不規則動詞変化表の小	作文の課題を授業内に取り	実施する。英会話では、既習
テストを毎時間行い定着を	入れる。身近な事柄に関する	内容の文法事項を使用し、即
図る。また、2年次までの文	短文から始め、段階的に文数	興でペアで会話をする機会
法事項を復習し、まとめるこ	を増やすなど工夫しながら、	を与える。ALT 評価を加え、
とで、知識を活用できるよう	表現できるように練習する。	主体的に学習に取り組む態
に取り組む。		度を育成する。